

2022年度「ケニア 短期派遣プログラム報告書」

農学部・デザイン農学科・1年・本島 陽翔

1. 当初の目的

これまでにデザイン農学科では、社会課題を解決するデザイン農学の意義を学んだ。さらに、国際的な食料問題・環境問題・エネルギー問題など現代社会が抱える多くの複雑な問題を解決するためには、幅広い農学の知見を駆使し、循環型社会を設計することが不可欠であると学んだ。また、短期派遣プログラム参加前に参加した「課題解決力醸成ワークショップ」では、食や栄養に限らずアフリカに関する様々な課題について理解を深め、課題の設定方法と解決に向けた考え方を学んだ。今回の短期派遣プログラムに参加した目的は、アフリカの食・農・環境・栄養を学ぶフィールドワークを通じて、実践活動から農学の多分野にわたる知見を得ることと課題解決力醸成ワークショップで検討した仮説を検証することである。

2. 目的達成のために現地で活動した内容

予定されたプログラムに意欲的に参加した。約2週間の滞在期間で、ジョモケニヤッタ農工大学での講義、有機栽培など循環型農業の生産とコーヒー研究所や紅茶工場・チーズ工場など食品加工を学んだ。また、JICA オフィスの訪問や日本人が活動する JOCV 栄養改善プロジェクトを視察した。国立博物館やサファリではアフリカの自然・文化・生活などを学んだ。留学期間中は、疑問に感じたところを遠慮せず質問することを心掛けた。ジョモケニヤッタ農工大学の先生やフィールドワークで訪れた施設のスタッフだけでなく、近くにいる現地学生にも聞くなど、積極的に学ぶ姿勢を大切にされた。質問に対する回答から新たに得られる知識も多く、重要であると感じた。また、日本人学生が多い環境ではあったが、現地学生と積極的に交流することを特に意識した。ジョモケニヤッタ農工大学の学生と話しているなかで、ケニアの日常生活と文化や価値観などを知ることができた。また、仲良くなった現地学生から昼の休憩時間を使って紹介してもらったオフィスやラボでは実際に免疫学の研究で使用している機材を見ることができ、日本と比較しても遜色ない設備に驚嘆した。日本で学んでいたときの想像を遥かに上回る驚くような経験が多く、農学の多分野にわたる知見を得るという目標は十分に達成できたと感じた。また、普段は関わる機会が少ない様々な学科から集まった農大生ともたくさん話すことで幅広い知識を得た。



3. 目標達成度の自己評価

農学の多分野にわたる知見を得るという目標は達成できたと考える。アフリカにおける農業や有機栽培・循環型農業などデザイン農学科で学習した分野をジョモケニヤッタ農工大学の先生やケニアで農業に従事する方々から直接詳しく学ぶことができ、さらに理解が深まり、また、新たな知識を得ることができた。特に、コーヒーやバナナなど特徴的な気候要素をもつアフリカならではの作物が大規模に栽培されている様子を実際に目で見て学ぶことができた経験は貴重であったと感じる。一方で、課題解決力醸成ワークショップで検討した仮説の検証は十分に達成できなかったと考える。都市部の栄養環境や衛生管理がそこまで悪くないと感じたことは大きな収穫だったが、郊外の現状を実際に見ることができなかった。また、現地学生との話でも地方やスラムの現状を聞くことはできなかった。



写真：Worm Compost



4. 今後の取り組み

大学3年に進級する際に休学してスイス農民連盟（Agrimpuls）が実施するインターンシップに参加する。家族経営で耕畜連携の環境保全型農業に取り組む農家で、農業先進国のスイスにおける1年間の実習を通じて実践から学ぶ。伝統的な農法で農家が景観や文化を守る優れた農業技術と経営管理・販売技術など知識を修得することが目的である。周辺国でフィールドワークを実施し、ヨーロッパの農業先進諸国で1次産業を支えるための2次産業と6次産業化を学ぶ。また、農家の家族の一員として生活しながらドイツ語や文化を学ぶ。留学計画の達成目標は「アルプス山脈の美しい自然を守る環境保全型農業と畜産を軸とした循環型農業を実践から学ぶこと」と「欧州の農業先進諸国で1次産業を支えるための2次産業と6次産業化を学ぶこと」である。今回の短期派遣プログラムを通じて、ケニアで循環型農業を学び、畜産が特に重要な働きをしていると考え、酪農に興味を抱いた。将来は食品加工の分野で研究することを目標としているが、今後は畜産を学び、幅広い農学の知見を得たい。

5. その他

(ア) 持って行って良かったもの

- ・小さいサイズのショルダーバッグ
- ・小さいサイズのノートやメモ帳
- ・エコバッグ

(イ) 用意したがいらなかったもの

- ・バスタオル
- ・カメラ

(ウ) 現地で使用したお小遣いの金額

- ・スーパー 3,000 円くらい
- ・お土産 12,000 円くらい

6. 次年度以降の参加者へ

(ア) 事前に準備した方がよいこと

- ・ケニアに関する情報
- ・ワクチン
- ・日本に関する話題

(イ) 勉強しておくべきこと

- ・有機栽培
- ・土壌
- ・循環型農業
- ・畜産
- ・農業の英単語

